

会議録様式

審 議 会 名	杉戸町農業振興審議会
開 催 日 時	令和3年6月30日（水）午前10:00～11:30
開 催 場 所	高野農村センター 会議室
会 議 の 議 題	杉戸町農業振興地域整備計画の変更について
公開・非公開の別	公開 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 （公開の場合傍聴者数 人）
	(非公開の場合理由) 杉戸町情報公開条例第6条に該当する、公開しないことができる情報を含む事項のため
出席委員氏名	野口一栄会長・青木茂雄副会長・大島かづ子委員 増山貞夫委員・三ヶ尻光雄委員・早乙女行雄委員 白石守利委員・岡田孝行委員・小島俊子委員・榎原一郎委員
審 議 の 概 要	<p>1. 杉戸町農業振興地域整備計画の変更について ※農用地利用計画の変更 5件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3密を回避するため、全委員での現地確認は行わず、地元委員が代表して申請地の状況を確認する。 ・事務局より申出内容、転用に係る事業計画の概要を説明する。 ・地元委員より現地の状況を報告していただき、質疑応答後、全員賛成により、可決承認する。 <p>2. その他</p> <p>①令和3年度 米政策の中間報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転作作物の作付け推進状況を説明した。 ・転作に係る助成制度の活用と手取り水準の試算結果を説明した。 <p>⇒ 各委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年以降は飼料用米に適した品種の作付け誘導をしたほうが良い。 ・転作により作付け時期をずらすことはできるが、水利や防除の問題が出てくるのではないかと。また、適期より収量は落ちると思う。 <p>②多面的機能支援交付金制度の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度の内容および今年度より活動している2組織を紹介した。 ・交付金活用の面積カバー率の推移および近隣市町村との比較を説明した。

③農のサポーター育成塾について

- ・事業の目的や内容、研修先農家を紹介した。
- ・これまでの研修内容と卒塾後の活動予定を説明した。

その他の意見

- ・コロナ禍により、地域の繋がりが更に薄くなってきている。
- ・共済組合で行っていた農機具の貸出やリースがあると助かる。
- ・シルバー人材センターでも農作業の依頼を受けているので、活用してほしい。
- ・儲けだけでは農家は続かない。『+α』がないと後継者は減るばかりだ。